

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 名古屋市立名東高等学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒 465 - 0064
名古屋市名東区大針一丁目351番地

E-mail kokusai-pt.meito-h@nagoya-c.ed.jp

Website http://www.meito-h.nagoya-c.ed.jp

児童生徒数 男子 471 名 女子 645 名 合計 1,116 名
児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

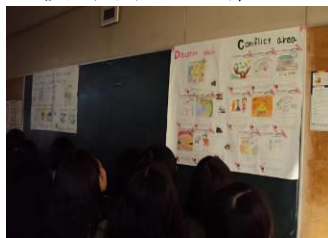
(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。
 名東高校は、”Go global! Go higher! Go for it! 理解教育とESD～”をテーマとして、ESD(持続可能な開発のための教育)の推進拠点として研究、実践に取り組み、その成果を積極的に発信することを通してESDの理念の普及に努めることに学校全体で取り組んでいる。ESDの理念を授業に効果的に生かし、名東高校の教育目標を実践して「世界中どこでも役立つ人」を育てるための1年間の取組、実践について5つの観点(国際理解教育、国際交流活動、名古屋城英語ボランティアガイド、ESD関連事業への参加、名東高校ESDフォーラム)から報告する。

【1】国際理解教育

①学校設定教科「ワールドスタディーズ」

本校の国際理解教育プログラムの中心として、世界の諸問題を知り、理解を深め、その解決のために行動できる高校生の育成を目標としている。1年生では、「世界の現状を知ろう」、「世界の諸問題を考えよう」、「世界に貢献するための文化理解」、「国際協力の取り組み」という単元でワークショップや外部講師による講演会(異文化セミナー)、プレゼンテーションなど様々な活動を通して解決策を探究した。また、2年生では夏季休業中にNGOなどの活動に参加、協力し、世界の諸問題解決のために自分たちができることは何かを考えてプレゼンテーションを行い、行動につなげていくことができた。具体的には、フィリピンの子どもたちのために学校を建てるプロジェクト「ハガキで世界をHappyにするプロジェクト」を校内で立ち上げ、NPO団体と連携してプロジェクトを進めたグループもあった。また、その団体と連携した活動の一環として「トゥライ(地球の架け橋)プロジェクト」を行い、最終的に子どもたちとスカイプで交流することもできた。

➤「フィリピン・トゥライ(地球の架け橋)プロジェクト～絵手紙交流～」事業への参加
 認定NPO法人アイキャンの事業に参加。自然災害の被害を受けた地域や紛争地、ゴミ処理場地域、先住民など様々な環境の子どもたちと英語でのメッセージを書いた絵手紙で交流。事前にフィリピンの子どもたちの現状を知り、解決策を考えるための講演会も行い理解を深めた。



フィリピンから届いた絵手紙



2015年のテーマ
 「私がイメージする平和」



絵手紙を読み、感想を
 英語で発表し合う

➤講演会(1年生)、国際交流事業への参加

実際に活動されている方の思いに触れ、内容への理解をさらに深めることができた。社会的課題に気づき、自分たちにできることについて考えるきっかけとなり、プレゼンテーションでは報告だけでなく、問題解決のための新しい解決策を提案することができた。

時期	内容	講師
6月	「貧困とフェアトレード」	土井ゆき子氏(風's代表)
10月	「イスラム教徒の生活」	イナース・ハッサン氏(JICAシニア・アドバイザー)
12月	「地球環境問題について考える」	杉山範子氏(名古屋大学大学院環境学研究科特任教授)
3月	「国際貢献を考える～パラグアイでの2年間の経験から～」	奥田ひと美氏(前青年海外協力隊員、JOCA勤務)

➤国際交流事業、NGO/NPO 団体の活動への参加（2年生）

ゼミ	テーマ	訪問団体	日程
A	環境教育	特定非営利活動法人 藤前干潟を守る会	8月2日（日）
		特定非営利活動法人 なごや東山の森づくりの会	8月12日（水）
		（トビタテ!留学 JAPAN：ニュージーランドでの活動）	
B	教育	（留学：アメリカ）	
		認定特定非営利活動法人アイキャン	8月22日（土）
		公益財団法人名古屋 YWCA グループ「スーパークITCHEN」	8月28日（金）
		特定非営利活動法人 全国こども福祉センター	8月8日（土）
C	環境とコミュニティ 開発	認定特定非営利活動法人 ムラのミライ	7月21日（火）
D	多文化共生	多文化共生サークル smile	8月22日（土）
E	農業とコミュニティ 開発	おが菜園	7月29日（水）
		東栄町地域おこし協力隊	8月9日（日）
F	多文化共生	愛知聖ルカセンター内 ELCC 国際子ども学校	7月3日（金）
G	人権	アムネスティインターナショナル 日本支部 グループ「わや」	7月7日（火）3限 【本校にて講演会】
		日本国際飢餓対策機構	8月31日（月）
H	外国人労働者の人権	特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター東海	8月12日（水）
I	人身売買	フィリピン人移住者センター（FMC）	7月24日（金）
J	保健医療	公益財団法人 アジア保健研修所	7月25日（土）
K	途上国における教育 支援	（トビタテ!留学 JAPAN：スリランカでの活動）	

【2】国際交流活動

①留学生の受け入れ：留学生と共に生活することにより異文化理解を深めた。

- 4月 ・ドイツ2名（長期）、スイス1名、ニュージーランド1名（短期）留学生受入
- 5月 ・姉妹校である韓国城南（ソナム）外国語高校より生徒40名が訪問、授業体験、交流会（発表、英語でのディスカッション）
- 6月 ・第1回「インターナショナルデイ」留学生が自国、日本・名東高校での生活について紹介、クイズ、能楽研究部発表、ロサンゼルス外国人講師の発表などを行い、生徒約50名が参加。（協力：外国語研究部、PTA国際交流委員会）
- 7月 ・ロサンゼルスより姉妹都市友好協会からの派遣生2名の短期留学受入
- 9月 ・ドイツ1名、フランス1名の長期留学生受入
- 12月 ・JENESYS2.0プログラム中国高校生14名受入
・オーストラリアから1名の短期留学生受入
・第2回「インターナショナルデイ」（留学生との交流会）
- 2月 ・インドネシア・コタバル高校から生徒3名、教員2名を受入（9日間）
・名東高校 ESD フォーラム&第31回英語スピーチコンテスト



インターナショナルデイ（6月）



インドネシア高校生による発表



第31回名東高校
英語スピーチコンテスト

② 語学研修：オーストラリア・ブリスベンにおける語学研修

全校生徒の希望者を対象に、オーストラリアへの語学研修旅行を夏季休業中に実施している。ホームステイでは、英語を学びながら異なる文化圏での生活を体験し、研修中は、午後にアクティビティを設定して現地校訪問、大学見学、先住民アボリジニ文化の学習等多様な活動を行い、国際社会に対応する柔軟性と主体性を身につけることができた。



オーストラリアの小動物を知る



現地校で日本文化紹介



シャフストン語学学校修了式

③ 海外修学旅行

本校国際英語科は韓国修学旅行を実施しており、現地を訪れて朝鮮半島の現状や日韓の歴史を学ぶ機会としている。また姉妹校である城南外国語高校への訪問も行っており、午前中は授業を体験し、午後はそれぞれの高校による発表、ディスカッションを含む交流会を行っている。今年度はESDをテーマとした発表に加えて、日韓の高校生が協力してアフリカの子どもたちにスニーカーを作って送るという、韓国のNGOによる「スニーカープロジェクト」に取り組むことができ、世界の問題について共に考え、交流をさらに深めることができた。



城南外国語高校の授業
で発表



スニーカープロジェクト



城南・名東高校記念写真

【3】名古屋城英語ボランティアガイド（ユネスコアシストプロジェクト）

「名古屋の魅力の世界へ発信～名古屋おもてなし大作戦～名古屋城を英語で案内しよう」

1 経緯

円安の影響によるここ数年の外国人観光客の増加に加え、2020年東京オリンピックの開催決定、2016年伊勢志摩サミットの開催決定など、これからもさらに多くの外国からの観光客が見込まれる中、日本の文化を外国語で発信することがますます重要となってきている。学校以外でなかなか英語を使う機会がない高校生にとって、英語のガイドをすることで実際に外国人の方とコミュニケーションを取ることは大きな刺激となるはずだ。また、全く知らない人に自分から声をかけてガイドをすることで、グローバル社会を生き抜くコミュニケーション能力も自然に身に着くだろう。東京オリンピックの際に二十歳前後となる高校生に今のうちからこのような機会があれば、将来彼らがエバンジェリストとなり、日本の文化のよさを必ず世界に広めてくれる。そう信じて温めてきたこのプロジェクトが、今年度ユネスコアシストプロジェクトとして採用され、実施されることになった。

2 生徒募集・準備

募集対象は、国際英語科3学年と、外国語研究部の生徒に絞ったところ、前期は15名の生徒が集まった。名古屋城で英語ガイドのボランティアをしておられるNPO団体愛知善意ガイドネットワーク（以下AGGN）の方と連携し、ガイドをする際の心構えをお話いただいたり、下見の日を設けて、3名のガイドさんに4～5名の生徒が付き、実際にどのようなところをガイドされているのか説明を受けたり、英語でデモンストレーションをしていただいたりした。

3 取組実績等

<1期生（4月～8月）> 名東高校生徒15名参加

- (1) 7月20日：名古屋城英語ガイド練習 お客様：アメリカ人4名（2名ずつ2組）
- (2) 8月1日：名古屋城英語ガイド本番① お客様：アメリカ人30名（10名ずつ3組）
- (3) 8月4日：名古屋城英語ガイド本番② お客様：アメリカ人1名 スイス人3名
ドイツ人2名 韓国人3名

<2期生（9月～3月）（継続中）> 名東高校生徒19名（フランス人留学生含む）参加

- (1) 12月23日：名古屋城英語ガイド 本番1回目
お客様：アメリカ人1名、マレーシア人6名、アルゼンチン人3名、韓国人2名
- (2) 3月12日：名古屋城ガイド 本番2回目実施

4 生徒の変容

実際に様々な国からの観光客と直接話すことにより、生徒達は自国の歴史や文化について英語で説明することの大切さや面白さを感じたようだった。毎回ガイドの後、生徒達は興奮冷めやらぬ様子で、「楽しかったので是非またこのような機会をもちたい」、「実際に生で他国の人と英語でやりとりができたことで自信になった」といった声が聞かれた。英語をその場で聞き取り、その質問に対してすぐに英語で返答をしなくてはいけないという状況において、今まで学んできた歴史の知識について即興で文を組み立てて答えられたことで、生徒達に自信がついたようだ。また、「幕府」「将軍」「家来」など日本の歴史を説明するために必要な単語や表現を繰り返し使用したことにより、それらの単語や表現も定着し、ホスピタリティに興味を持つ生徒も増えた。この活動を続けていくことでさらに生徒達の英語での発信力が高まるだけでなく、自国の文化等を発信できるグローバル人材としての素養を育てることができると考える。



【4】ESD 関連事業への参加

- ① 平成 27 年 10 月 10 日「愛知県ユネスコスクール交流会」愛知県教育委員会主催（愛地球博記念公園）。名東高校 ESD への取組発表（ポスターセッション）、ワークショップ「世界の食卓から世界の問題を考える」を企画、開催。
- ② 平成 28 年 2 月 6 日 「ESD パスポート体験発表会～Today for Tomorrow～」名古屋ユネスコ協会主催（愛知県立愛知商業高校）。トビタテ！留学 JAPAN 参加生徒によるコスタリカでの体験・考えたことについて、また名古屋城英語ガイドプロジェクトについての体験発表を行い、同世代、地域の方、ユネスコ協会の方へ自分たちの体験について発信することができた。



愛知県ユネスコスクール交流会



ワークショップを企画、開催



ESD パスポート体験発表会

【5】名東高校 ESD フォーラム & 第 31 回英語スピーチコンテスト

平成 28 年 2 月 6 日（土）

① 名東高校 ESD フォーラム

1. 基調講演： 「未来をひらく ESD—地域と世界の ESD 事情—」
講師： 古澤礼太氏（中部大学国際 ESD センター・中部高等学術研究所）
2. 分科会①：世界の文化理解
「ブータン農務省プレゼンテーション」
講師： Tshewang Norbu 氏（ブータン農務省）
分科会②：環境問題
「インドネシアにおける持続可能な社会に向けた取組」
発表者： Edy Rakhmadi 氏（コタバル高校校長）

3. 第 31 回名東高校英語スピーチコンテスト

- 第 1 部 レシテーションの部
- 第 2 部 スピーチの部（テーマ：ESD、よりよい未来を創るために）
- 第 3 部 グループレシテーション、本校留学生による日本語スピーチ、ESD への取組発表、コタバル高校による発表、スピーチ
- 第 4 部 表彰、審査員の方による講評

② 成果

昨年度に引き続き、午前中に名東高校 ESD フォーラムを行い、専門家の先生方からの講演と海外での取組についての発表、名東高校生徒による ESD をテーマとした英語スピーチや海外派遣での体験発表を聞くことにより、世界の諸問題について考える貴重な機会となった。未来をつくるための行動を起こす第一歩となるような企画とすることができ、ユネスコスクールとしての名東高校の実践をさらに発展させ、発信していく機会とすることができた。



基調講演 古澤礼太氏



分科会①ブータン農務省



英語スピーチコンテスト

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（「名古屋城ガイドプロジェクト」は外国語研究部、国際英語科生徒有志の活動として実施 ）